

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	区域まちづくり事業（南区）	事業番号	215-006
担当部署名	南区役所	局	部
		総務	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
			有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	南区まちづくりビジョン			
3	事業開始年度	平成 28 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	南区民	対象数	単位
			133,049	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	区民のニーズや区域の実情をふまえながら、区役所が主体的に区域の特性をいかした魅力ある取組を推進することを目的とする。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	区役所が、区民ニーズに柔軟に対応し、地域コミュニティの醸成を図る事業や安全・安心に資する事業などを実施する。 また、区民から寄せられる区域内の環境整備に関して、本庁部局と連携し対応することで、きめ細かなまちづくりを実現する。 なお、令和3年度予算から、区域まちづくり事業のうちのハード事業に係る区局連携分予算について、事業所管局へ移管しており、以降事業費が大きく減少している。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業務受注者、実行委員会		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	区域の特性や区民ニーズをふまえながら、 区役所がより主体的に区域のまちづくり事業を推進						
	当該目標を設定した理由	区域の特性や区民ニーズをふまえたまちづくりの推進のために各事業の実施を決定していることから、事業実施数がまちづくりの推進の指標となるため。					
	目標に対する実績	実施した事業の数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	事業実施数			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		目標値		20	18	18	
		実績値		17	15		
	達成率		85%	83%			
	当該指標を選定した理由	区域の特性や区民ニーズをふまえたまちづくりの推進のために各事業の実施を決定しているため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	区域の特性や区民ニーズを踏まえ、主体的に事業を企画・実施した件数。					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	区域まちづくり事業（南区）	事業番号	215-006
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	23,714	29,115	42,659	30,453	39,178
財源内訳	国支出金			262	362	262
	府支出金			131	180	131
	市債			0		0
	その他（寄附金）			0	50	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)		34	48	4	53
	一般財源	23,714	29,081	42,218	29,857	38,732
14	人件費（b）	35,610	35,640	35,410	35,410	35,250
15	年間経費（c）=（a）+（b）	59,324	64,755	78,069	65,863	74,428

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	多胎児家庭等支援事業【新規・拡充】	決算		0	0	委託料	決算		7,056	6,464
		予算		83	83		予算		9,105	8,712
	報償費	決算		1,025	1,025	工事請負費	決算		3,632	3,632
		予算		1,855	1,855		予算		5,747	5,747
	消耗品費	決算		1,583	1,579	備品購入費	決算		1,019	1,019
		予算		3,259	3,206		予算		430	430
	修繕料	決算		4,901	4,901	負担金	決算		9,524	9,524
		予算		5,016	5,016		予算		11,844	11,844
	役務費	決算		1,198	1,198	その他	決算		515	515
		予算		1,247	1,247		予算		592	592

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和4年度	令和5年度
	①	事業実施数	事業	17	15
	②	上記①にかかる年間経費	千円	64,755	65,863
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	3,809,118	4,390,867
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	南区政策会議からの提言を基に事業の拡充実施を行ったが、継続実施した事業について事業内容を精査し統廃合を進めたことで実施事業数より減少した。また、事業費についても、対象者や事業内容の変更など事業見直しを行い事業費の再配分を行うことで微増に留めた。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	各事業の実施について、市民ニーズの変化を的確に把握し、堺市南区基本計画に掲げる基本方針の重点施策に沿った事業を実施することで、南区の課題解決に向けての取組や南区の特色を発信することで、南区のめざすまちづくりの推進に寄与している。 令和3年度はコロナ禍により事業の中止や縮小をしたが、令和4年度から徐々に事業を再開している。区域の特色に応じて各区で実施している事業であり、地域に根ざし定着している事業が多数あるため、区政推進を図るうえで重要な取組みである。 令和5年度には西区の魅力を伝える大規模イベントを行い、西区内外から多くの人に参加いただけたことにより、西区のPRを行うことができた。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和5年度とした事業のみ記載）

必要性	■ 高い □ 低い	令和3年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、事業中止や実施規模を縮小していたが、実施内容の見直しを行い、事業数は減少したが、南区政策会議内に設置された部会からの提言を受け、魅力発信、安全安心、健康増進に関して新たな事業を実施し
有効性	■ 高い □ 低い	ており、区内の問題解決に向けた取組を開始することができた。 今後も継続して事業を実施することで、堺市南区基本計画に掲げる目標達成に向け極めて有効な事業である。